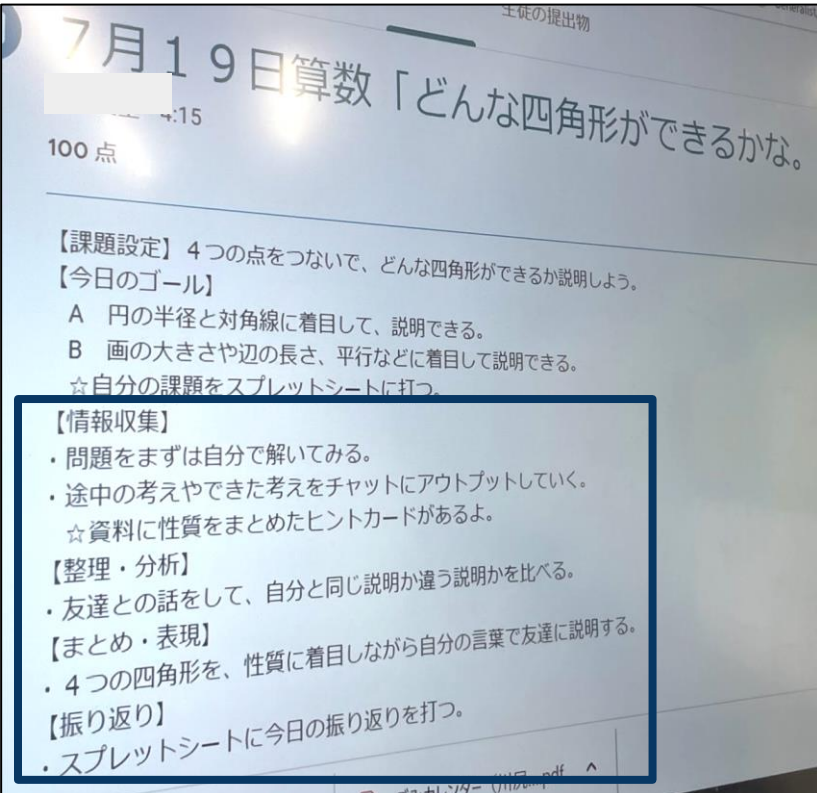


【取組内容①】 「探究的な学習の過程」を意識し学び方を習得、振り返りの蓄積



<p>今日は、国語科の授業で、動物の生態について学びました。...</p>	A	<p>今日は、教科書からたくさんの情報収集をすることができました。隣の人と交流していたときは、彩羽さんは思考ツール（イメージマップを使っていたのでわかりやすかったです。</p>	A B
<p>今日は国語科が教えてくれることを線を引き読みました。...</p>	B	<p>今日は交流をしませんでした。だけど、最後に隣の人と交流することができました。課題を立ててから教科書を線を引きたりして、情報収集できました。ジャムボードにまとめたことのできたからです。</p>	B B
<p>今日は、国語科の授業で、動物の生態について学びました。...</p>	B	<p>きょうはほとんどのひとと交流をしてじぶんがしたことをそのままにいたしたのでよかったです</p>	B B
<p>今日は、国語科の授業で、動物の生態について学びました。...</p>	B	<p>今日はドキュメントのゴール、3時間であることをドキュメントで見ながら課題設定を立てて教科書から大事なところを抜き取ってキーワードの短い文字でまとめるために教科書をしっかりと読んで大切なところには線を引きたりして情報収集をしてその大事どころ、抜き取ったところをジャムボードで整理分析をして最後に隣の人と交流をしてスプレッドシートに学んだこと、今日の学び方を振り返りました。次の3時間目には完成させたいと思いました。</p>	B B

学び方

内容

- ・「課題の設定」→「情報の収集」→「整理・分析」→「まとめ・表現」→「振り返り」のサイクルを毎時間実施。
- ・振り返りは「内容」と「学び方」の2つを蓄積。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

吉田町立中央小学校

【取組内容①】 全員で取り組んだ「内容」と「学び方」の振り返り

自己調整力育成のための「学んだ内容」と「学び方」の振り返り

「自分で学ぶ」ためには、自らの学びをメタ認知によりよい学びへと自己調整していくことが重要である。そこで、3年生以上にGoogleスプレッドシートで作成した同じ振り返りシートを使用し、「学んだ内容」と「学び方」の両方での振り返りを行うこととした。共同編集やタイピングが得意ではない低学年はGoogleフォームで選択式の振り返りを行った。使用していくうちに各学級で工夫し、それぞれの個性が出るようになっていった。



**学んだ内容**

**学び方**

課題に対するまとめとそこへ到達するために学んだこと。

初めの考えから、対話を通して考えの変容したことを自覚している。

私は、筆者の考えは、アップとルーズを選んだり組み合わせたりすることが大切だと思う。理由は、⑧と③に同じ考えがあって、思いやりのデザインは、②と⑤に同じ考えがあるしそれが筆者の考えだったから、私は、そこが筆者の考えとおもいました。

私は、筆者の考えは、アップとルーズを組み合わせたり選んだりすることが大事。

アップとルーズには伝えられることと伝えられないことがあるからアップとルーズを選んだり組み合わせたりすることが大切だと伝えたいと思います。

筆者の考えは、アップとルーズを選んだり、組み合わせたりすることが大切というのを伝えたいと思います。

発表のときに私は、最後の文で決めつけていたけれどみんなの考えを聞いて、自分の意見が変わって、もっとよりわかりやすい意見が出てきていいと思いました。はんで話すのもいいけれど自分から「どう？」と意見を言えてクラスの中も深まったと思いました。

情報収集のやり方が有効だったか、誰と対話するのが有効だったかを振り返っている。

情報収集は教科書に前に線などを書いてあったからすぐできごうのいおりさんとやってほぐが説明したことをごういごとたよねを言うてれたからうまくまとめられたから良かった

教科書にペンで線を書いたり思いやりのデザインを見てやったりみんなの意見を聞いてやった

(学校評価)学んだことや学び方を振り返っている

	7月	11月
児童	91%	92%
教職員	76%	96%



20%UP

# リーディングDXスクール事業 【実践事例】

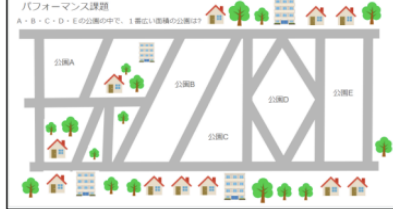
吉田町立中央小学校

## 【取組内容①】教科・領域の本質的な学びに到達することを意識した単元づくり

### 5年算数「四角形の面積」での自由進度学習への挑戦

第5学年C組 算数科 学びのデザインシート

- 1 日時 令和5年11月22日(水) 第5校時
- 2 担任名 【どの公園が1番広いかな?】単時(5/12時)
- 3 単元で育成をめざす資質・能力につながる単元の評価基準



知識・技能	三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による面積を理解する。【B】(3)ア【ア】
思考・判断・表現	図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を活用するとともに、その表現もめり、難関の問題を積極的に取り上げ、対話して考えることができる。【B】(3)イ【ア】
主体的に学習に取り組む態度	図形の面積に関する知識・技能を適切に活用することで、自分なりに図形の面積に関する課題に対し、様々な視点で解決できるようなまに実行でき、達成の喜びを味わうことができる。

4 情報活用能力育成を目指す単元づくり(研検との関わり) **問題解決の基礎**  
**単元の能力**  
 本単元では、平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積について、図形の構成要素に着目し、既習の面積の求め方に導きながら考えることで新しい公式をつくり出していく。  
 子供たちはまず、図形を変え、既習の求め方に当てはめてみて新しい図形の面積を求めていく。この等積変形の操作により、子供たちは今まで求められなかった様々な図形の面積を求めることができるようになる。互いに考え方を紹介し進んでいく中で、一つの図形の面積の求め方に多くのアプローチの仕方があることを知っていく。すると、子供たちはますます意欲が湧いてくる。必要事項をもって友達と関わっていく。「自分で学ぶ」の達成を目指して進めてきた授業づくりの成果は、この頃と活動の振り返りの姿で見られる。

**事前に他校の先生にも公開。ワクワクするとの意見を多く頂いた。**

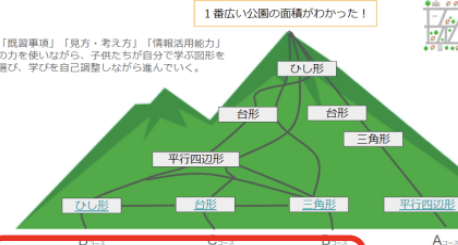
この単元構成について立ち話をしたことを思い出しながら、思わず「オースチヤン」と心の叫びました。子供の成長、楽しみです。

これまで身に付けた技を駆使しながらダンジョンを攻略していくようなワクワク感があります！すごい！

これに着目すると、どんな形でも使えるようになるので、いい学習日だなと思いました。

**＜本単元でつける情報活用能力＞**  
 本単元では、図形の構成要素に着目し、既習の面積の求め方に導きながら考えることで新しい公式をつくり出していくことが大切である。そこで、「等積変形する考え方」「図形を分割する考え方」という見方・考え方を働かせることにより、子供たちが自ら工夫して面積を求め、整理・分析ができるようにすることを大切にしたい。また、難関かつ複雑な表現へと高めた公式について、算数用語を用いて理由を説明し、キーワードを言語化することで、表現する力を育んでいきたい。

情報収集	課題設定	整理・分析	まとめ・表現	ふり返り
広さや高さなど、辺の長さに着目し、求めるために必要な情報を集める。	既習の図形の要素をもとに新しい図形の要素に類似性をもち、自分なりの課題をもつ。	数字と算数用語や、既習の図形と新たな図形を関連付けすることで、面積を求めるための公式をつくる。	算数用語を使って、図形の面積を求める方法を説明する。	自分の学びを意欲的にふり返り、次時へ方法をもちこむ。



「既習事項」「見方・考え方」「情報活用能力」の力を活用しながら、子供たちが自分で学ぶ図形を選び、学びを自己調整しながら進んでいく。

**ゴールは同じ。どう選択し、進んでいけば良いのかも分かりやすく提示。**

単元	第1時	第2時	第3時	第4時	第5時	第6時	第7時	第8時	第9時
コースA	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コースB	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コースC	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コースD	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コースE	○	○	○	○	○	○	○	○	○

正方形の面積 = 1辺 × 1辺  
 長方形の面積 = 縦 × 横

<p><b>第1時</b> (注) どの公園の面積が1番広いか調べたい。自分の好きな単元計画をつくらうとしている。(シミュレーションボード、タイムレッドシート)</p>	<p><b>第1時</b> めあて:どの公園の面積が一番広いかな? 視点:見方・考え方「オナジシ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題設定: いろいろな形の図形の面積はどのように求めたいかな。 <b>自分なりの学習問題</b></li> <li>情報収集: 単元のゴール達成のためにどんな学習が必要か <b>キーワードを抜き出す</b></li> <li>整・分: 単元構想をつくる <b>比較・関連付け・分類・構造化</b></li> <li>ま・表・現: 自分がつくった単元構想の意図が伝えられる。 <b>自分の言葉で高語化</b></li> </ul>	<p><b>情報収集</b>                  単元を通したパフォーマンス課題解決のために、単元構想を考え、教科書から情報を選び取るができる。</p>
--	---	---

**ルーブリック評価** ※指導要領をもとに作成した「ルーブリック評価表」 繰り返りの自己評価で毎時活用する。

【主体的に学習に取り組む態度】	【知識・技能】	【思考・判断・表現】
A 学習したことを生かして、様々な形の面積を求めようとしている。	様々な形の図形の面積を、公式を使って解くことができる。	図形の構成要素に着目し、「いつでも使える同じ要素は何か。」を考えることで、公式を導出することができる。
B 今まで学習した面積の求め方を使うと、初めて知る図形の面積も求められるというよさに気づき、面積の求め方を調べようとしている。	平行四辺形、三角形、台形、ひし形の面積を、公式を用いて解くことができる。	図形の構成要素に着目し、面積を求める公式が成り立つ理由を説明できる。
C 問題を解くために必要な情報を集めようせず、問題を解くことを諦めている。	面積を求めることができない。	面積の求め方について、自分の考えをもつことができる。

子供達が教科の本質に迫りながら自走するためには、ゴールを明確に示す必要がある。そのためにルーブリック評価を提示。

**学習活動**

- めあて: どの公園の面積が一番広いかな? (見方・考え方「オナジシ」)
- 課題設定: いろいろな形の図形の面積はどのように求めたいかな。 **自分なりの学習問題**
- 情報収集: 単元のゴール達成のためにどんな学習が必要か **キーワードを抜き出す**
- 整・分: 単元構想をつくる **比較・関連付け・分類・構造化**
- ま・表・現: 自分がつくった単元構想の意図が伝えられる。 **自分の言葉で高語化**

**情報活用能力**

単元を通したパフォーマンス課題解決のために、単元構想を考え、教科書から情報を選び取るができる。

情報活用能力をどう発揮・育成するかを記入。 教師は一人一人のスライドを見取り、声かけ支援をしていく。

# 単元内自由進度になっっていく

# リーディングDXスクール事業 【実践事例】

吉田町立中央小学校

## 【取組内容①】高学年における「自分で学ぶ子」の一層の推進（児童が単元構想を考える）

4 情報活用能力育成を目指す単元づくり【研修との関わり】

研修テーマである「自分で学ぶ子」の育成を目指し、「探究サイクル」を意識した授業展開を手立ての柱として取り組んできた。「探究サイクル」を意識して取り組んだことにより、自分で学習を進める力が育ちつつある。さらに、子供自らが学びを計画し、見直しをもって取り組んでいけるように、徐々に子供達に学びを委ねてきた。その1例として、課題設定（単元構想担当）情報収集（ICT担当）整理分析（授業進行担当・板書担当）まとめ・表現（話し合い担当）の役割を決め、自分の得意、力を付けたいという部に所属し単元の授業を自分で進めていけるよう取り組んできた。

本単元では、単元構想、授業進行担当が中心になって、誰もが付けたい力を付けてゴールまでできるようにするために、「体積マスターを目指し、クイズ大会を開催」と、各時間にマスター問題を取り入れたり、学んだことを生かして体積クイズを行ったりする単元のゴールを考えた。その単元構想を全体に提示し、各自の課題を設定した上で、授業を進めていく。

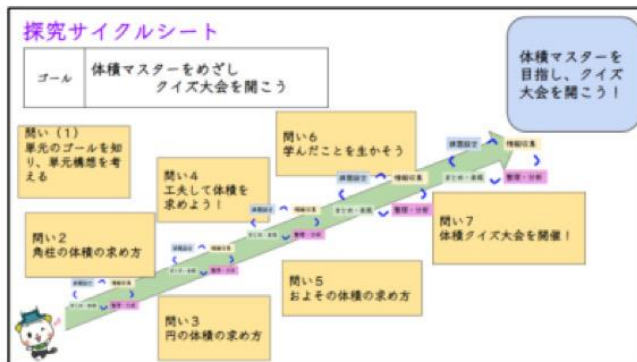
これまで4～6年生で学んだ求積の見方・考え方や5年生で学んだ体積、容積の求め方に着目して情報収集したり、整理分析したりしていく。そして、思考の過程や判断の根拠などをノートやICTを活用してまとめたり友達と関わり伝えたり話し合ったりする。また、自分の考えや判断の根拠などをノートやICTを活用してまとめたり友達と関わり伝えたり話し合ったりする。

さらに、学んだことを生かし、日常生活の中で活用しようとする一連の流れで、情報活用能力を育成できるようにしていきたい。

<b>課題設定</b> ○提示された大きな課題を基に疑問や興味・関心に基づいて、自ら課題を設定できる。 <中核となる方法> ・課題を作るための情報収集と整理分析(Jamboard) ・課題の共有(chat)	<b>情報収集</b> ○複数の資料から必要な情報を取捨選択して収集できる。 <中核となる方法> ・図や表と文章をつなぐ(資料集や資料) ・目的を踏まえ、方法を検討したりの組み分けたりして情報を整理できる。 <中核となる方法> ・Jamboardでの情報収集 ○情報の信頼性や信頼性を判断し、適切に情報を活用することができる。 <中核となる方法> ・メディアの特性理解	<b>整理・分析</b> ○目的を踏まえ、収集したものを基に、方法を決定したり組み分けたりして情報を整理し、そこから結論を導き出したりの因果関係を気づかたりすることができる。 <中核となる方法> ・問題の分解、分類する、結果の予測等(Jamboard) ・メディアの特性理解	<b>まとめ・表現</b> ○相手や目的、状況に合った方法で、より効果的なものとなるよう工夫(デザイン等)してまとめることができる。 <中核となる方法> ・メディアの特性理解 ○相手や目的、状況に合った方法で、より効果的なものとなるよう工夫(デザイン等)して説明、発表できる。 <中核となる方法> ・説明、発表、対話の技法 ・メディアの特性理解(chat、文章)	<b>ふりかえり</b> ○問題解決全体について学習内容と学習方法の両面から振り返り、自らの学習を評価・改善できる。 <中核となる方法> ・探究サイクルの構想みによる振り返り(スプレッドシート) ・単元や学期レベルでの評価度の高い振り返り
---	---	---	--	---

6年算数「体積」の学習でも、単元構想担当が考えた単元構想を基に、個々が課題を考え授業を行っている。

### 児童の考えた単元計画シート



本単元だけではなく、その他の単元や他教科でも同じ形のシートを使い、いつでも同じ流れで考えられるようにした。



45分間のタイムキーパ、司会、まとめ役まで全て子供が主体で行う。教師はあくまでも伴走者であり、サポート役に徹する。

## 【取組内容③】教科サイトを軸にした反転学習・発展学習の実施

体育 サイト

ホーム 4年生 体づくり運動 陸上競技 水泳 ボール運動 器械運動 表現運動 新体力テスト 保健

# 保健体育

画像: amanaimages https://amanaimages.com/info/infoRF.aspx?SearchKey=60003000273

## 体育でのお約束

### 服装

- ・学校指定の体操服を着用します。
- ・冬の寒い日には、上着を着ることができますが、ウォーミングアップが終わったら脱ぎます。
- ・フードのついている服は、フードをしまします（ウォーミングアップが済んだら脱ぎます）。
- ・ネックウォーマーやマフラーは外しましょう。

体育 サイト

ホーム 4年生 体づくり運動 陸上競技 水泳 ボール運動 器械運動 表現運動 新体力テスト 保健

# 陸上競技

高学年の陸上運動は、「短距離走・リレー」、「ハードル走」、「走り幅跳び」、「走り高跳び」の4種目で構成されています。一定の距離を全力で走り抜けたり、バトンの受け渡しをした  
り、リズムカルにハードルを越えたり、リズムカルな助走から踏み切って跳んだりして、記録に挑戦したり、相手と競走（争）したりする楽しさや喜びを味わうことができる運動です。

## 短距離走・リレー

- ▶ [評価のポイントはコチラ](#)
- ▶ [参考資料はコチラ](#)
- ▶ [5年習熟度テストはコチラ](#)
- ▶ [6年習熟度テストはコチラ](#)

【取組内容④】 汎用アプリを活用した業務改善の工夫①

共有（共同編集）



自分のタイミングで加除修正

週報・月計画

みんなが入ってくれるので、より正確なものに仕上がる。欲しい人が自分で印刷を行う。

生み出された時間の使い方

マネジメントに力を入れる。4人の部長さんと話がたかさんできる。

できる人？スマートな仕事

指導案のデジタル起案

起案者

進捗状況が分かる。誤字脱字は、その都度修正。

見る側

これまでの指導が可視化される。

みんなで入れればミスはない

授業一覧表 等

公開授業の教科名や場所、ねらいなど、管理職が打ち直す、コピーしてデータを貼るといったことはない。管理職のための働き方改革。

共有



魔の8:00～8:30

出欠席の確認



教務部・事務部

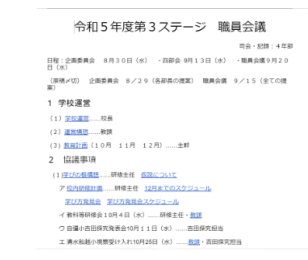
8:00～8:30は出欠の一覧、チャット確認。担任からの登校していない児童宅への電話依頼を受けて電話。結果をチャット等で連絡。

担任はいちいち電話をかけた職員室に来なくてよい。学級のことに集中する。

何でもかんでも付けてしまえ

研修・職員会議等の資料

資料の配付× 探す×



今日は何の日

日報（本日の流れ）

教務部



教頭が本日の流れを職員室大型モニターとチャットに当日と翌日の最新予定をあげる。教室から見ることができ、加除修正することもできる。

職員室に来なくても良い

担任は、いちいち職員室に電話をかけた来たり、資料を取りに来たりする必要はなく、学級に集中できる。

【取組内容④】 汎用アプリを活用した業務改善の工夫②

時短・記録



無駄な時間を徹底削除

備品管理 備品整理

ポケットーク管理表



何の教具なのか分からず探しまくる。



写真を撮ってリンクを貼れば写真でその物を確認することができる。

特別教室の予約



予約のために職員室へ×



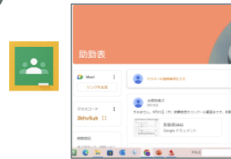
教室で、家で予約

子育て世代の強い味方

いつでもどこでも確認・発信  
(助勤表)

助勤表の

クラスルーム



個人チャット

突然お休みする時に、朝早く学校に来なくても、ドカし、主幹に送信(連

ボイスレコーダー

メモ=会議録



ボイスレコーダーにとっていたものを文字を起こす。面倒くさい!



その場で記録をとり、すぐに共有できるから、便

対話・可視化・創造・記録



一丁目一番地「研究」と「修養」

空き時間の授業参観がミニ研修に。



参観した人が、写真をチャットに投稿。その授業を見ていなくても、放課後、授業者に意図を聞きに行くことができる。

何が正解か分からないから、経験年数関係なく授業のことを考える。

指導案デジタル起案

短時間で一人一人の意見を把握

教育課程や研修、会議あるある一部の人がばかりしゃべる。



全員参加型の会議。自分の考えを入力してもらうことで、一瞬で全員の考えを把握。寝ている暇はありません。むしろ、頭を短時間で使うので時間通りで切り上げないと。

勝手にコンテスト

PTA親子活動(10/21)の賞状づくりを6年生に依頼。



6年生の約30名以上が賞状づくりに自主的に参加。素敵な賞状が完成。



## 【取組内容④】 汎用アプリを活用した業務改善の工夫③

## 本校の教職員はすごい！



## アイデアの宝庫

## 事務

- ・ 備品購入 【時短】 
- ・ 来校予定 【共有】 
- ・ 備品明細調査票

【共同編集】 

時間が余ったら、同僚をサポートする。

## 苦手苦手詐欺（笑）

養護教諭 

- ・ コロナインフル罹患情報
- ・ WBGTの数値

ICTが苦手と言いながら、色々な人に聞いて自分のスキルを上げている。

情報を常に発信し、職員に啓発する。

## タイムリーな活用

学校司書 

- ・ 「本の返却をお願いします。」
- 新たなやり方で発信する。



各自が自分のやりたいことに合わせて仕事の仕方を変え、新たな価値（仕事）を生み出している。  
みんなの **ウェルビーイング（やりがい）** につながっている。